



4月30日 学校再開に備えて 教職員が学び合う

国東小学校で、21名の教職員が参加して「対話的学習会」が行われました。講師は大分県別府教育事務所の山香昭所長が務め、新型コロナウイルス感染予防に配慮した授業方法などについて参加者全員で学習を深め、学校の再開に備えました。



4月30日 親子で工作を楽しんで

文殊仙寺(国東町大恩寺)の秋吉文暢住職が段ボールクラフト約5,100個を市教育委員会に寄贈しました。段ボールクラフトは「さ吉くん」と「くまモン」の2種類で、秋吉住職は「市内の子どもたちのために寄贈しました。親子で工作を楽しんでほしいです」と話していました。



4月15日 登下校時の 交通安全を願って

交通安全協会国東支部が、市内の新中学1年生全員に交通安全のための反射タスキを贈呈しました。安岐中学校で贈呈式が行われ、新1年生を代表して中野絢太さん(写真左から3人目)が、野田忠治支部長(写真左から2人目)より反射タスキを受け取りました。



4月15日 手作りマスクを 市職員に

NPO法人国東市手と手とまちづくりたいのメンバー5人が市役所を訪れ、手作りマスク100枚を市に寄贈しました。海原明子副理事長が「男女ともに装着できるデザインにしました。市民に接する機会の多い、市役所窓口の職員さんに使ってもらいたいです」と話していました。



5月12日 県議会が 国東警察署で意見交換

大分県議会の文教警察委員会(木付親次議員ほか7名)が、国東警察署を視察調査で訪れました。染矢慎二署長が、管内の事件・事故の状況や、警察署新庁舎の建設などについて説明。委員は、高齢者を犯罪被害から守る取り組みなどについて質問していました。



5月11日 新型コロナウイルス 対策に寄付

NPO法人ボランネットとよさきの田吹聡理事長と高井明德さんが市役所を訪れ、市に10万円を寄付しました。田吹理事長(写真右)は「何か市の役に立てればと思い、寄付しました。新型コロナウイルス対策などに使ってもらいたいです」と話していました。



4月24日 入学祝い金で 子育て支援

市福祉課で、子育て入学祝い金の交付が始まりました。市内の子育て家庭の負担軽減のために、市が小学校入学時に3万円、中学校入学時に5万円の商品券(市商工会発行)を交付しています。今年度は小学生151人と、中学生191人が対象となっています。



4月23日 市内の子どもたちの ために

株式会社テクノ(安岐町下原)が、市内の幼稚園と小中学校に対して布マスク約2,000枚を寄贈しました。市役所で行われた贈呈式で上野浩伸代表取締役(写真中央)が「学生服の縫製技術を生かして作りました。学校でのマスク不足に役立ててください」と話していました。

